



# 清風

銚子市立明神小学校学校便り  
VOL.20 令和5年2月14日

令和4年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」 ～かしこく やさしく たくまい 明神っ子～  
『学校は子どもにとってワクワク・ドキドキできる場所』

## 第2回読み聞かせ

1月27日（金）に教育部の皆様による「第2回読み聞かせ」が行われました。今回も各クラスで、様々な本の読み聞かせが行われました。子どもたちは毎回楽しみにしていて、今回も「わあ！」「すごい！」と歓声を上げながら聞いていました。教育部の皆様、朝早くからありがとうございました。



## 生きた教材

6年生の社会科では、現在「戦後の日本」を単元として取り扱っています。銚子市役所から原爆に関する実際の写真をお借りして、コンピュータ室に掲示し、当時の日本の置かれた状況を学びました。本当に現実で起きた事だと実感し、戦争は二度と起こしてはいけないと改めて感じる機会となりました。

## 歯みがき指導

2月6日（月）に6年1組で「自分の歯を知ろう」というテーマで、歯のみがき方などについて学習をしました。今年の歯科検診の結果を見て自分の歯がどうなっているのか確認したり、歯を赤く染めるテスターを使って、みがき残しが残っていないか確認したりしました。口の中を鏡を見て、「歯と歯茎の間が赤い。」や「歯と歯の間が赤い。」といった声があり、自分の歯みがきがどうだったかを確認できたようです。その後、養護教諭より、歯のみがき方について指導をしました。



8020運動というものがありますが、これは1989年（平成元年）より厚生省（当時）と日本歯科医師会が推進している「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯が

あれば、食生活にほぼ満足することができると言われています。そのため、「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めてこの運動が始まったそうです。



感染症予防の観点から、昨年までは給食後の歯みがきを中止していましたが、全学年において、安全な歯みがきの仕方を意識させ、子ども達の将来を考え歯みがき指導を進めています。